

時・目標 指導形態	主な学習活動	評価規準	育てる過程の 学力
<p>第1時 (T・T) (分数)×(整数)の計算の仕方を既習のきまりや図を使って考えることができる。</p>	<p>1 教科書の言葉の式や図をもとに立式する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 分数のかけ算の計算の仕方を考えよう。 </div> <p>2 図を見て計算の仕方を考える。【考】</p> <p>3 単位分数のいくつ分という考え方に重点を置き，計算の方法を考える。</p> <p>4 2の問題の計算方法の確かめをする。</p>	<p>B (分数)×(整数)の計算法を面積図を使って考え，立式することができる。</p> <p>A 計算法を面積図を使って立式できるとともに，単位分数のいくつ分という考え方をを使って説明できる。</p>	<p><考える学力> 単位分数がいくつ分あるかに目を付ければよいことに気づく。 [活動3]</p>
<p>第2時 (T・T) (分数)×(整数)で，計算の途中での約分の仕方を理解する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> $\frac{2}{9} \times 3$の計算はどのように考えればいいだろう。 </div> <p>1 本時の課題をつかむ。</p> <p>2 $\frac{2}{9} \times 3$の計算の仕方を各自で考える。</p> <p>3 発表し合い，考え方を比較し，簡単な方法について話し合う。【知】</p> <p>4 練習問題をする。</p>	<p>B 計算の途中で約分すれば，計算が簡単になることが分かる。</p> <p>A 計算の途中で約分すれば，計算が簡単になることが分かり，練習問題が全て正解している。</p>	<p><考える学力> 計算の途中で約分すると，計算が簡単であると考ええる。 [活動3]</p>
<p>第3時 (T・T) コース別学習での考えを交流し，乗法の意味を拡張することができる。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> $\frac{7}{5} \times 4$の計算の仕方を考えよう。 </div> <p>1 問題を読み，題意をつかむ。</p> <p>2 答えを予想し，解決方法について話し合う。</p> <p>3 必要なテープの長さを求める計算の方法を考える。【知】</p> <p>4 練習問題をする。</p>	<p>B (仮分数)×(整数)の計算も，既習の計算と同じようにすればよいことが分かる。</p> <p>A 数直線と式をつないで(仮分数)×(整数)の計算も，既習の計算と同じようにできることを説明できる。</p>	

<p>第4時 (T・T) (分数)÷(整数)の計算の仕方を考えることができる。</p>	<p>1 問題1を読み、問題場面を把握する。 2 ことばの式や図をもとに考え、立式する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> $\frac{4}{5} \div 2$ </div> <p>3 1㊦で何㎡ぬれるか図で考える。 4 問題2を読み、立式する。 5 1㊦で何㎡ぬれるか図で考える。 6 既習をもとに計算の仕方を考える。 【考】</p>	<p>B ことばの式や図をもとに、単位分数がいくつ分あるかを考えて答えを見つけることができる。 A 単位分数での考え方や、整数の計算におきかえる考え方など、(分数)×(整数)のときの考え方を想起して、答えを見つけることができる。</p>	<p><工夫する学力> 面積図などを用いて、具体的な場面とつないで考えようとする。 [活動2]</p>
<p>第5時 (T・T) (分数)÷(整数)の計算の仕方を理解することができる。</p>	<p>1 前時の復習をする。 2 3の問題場面を理解し、立式する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> $\frac{3}{4} \div 2$ </div> <p>3 (分数)÷(整数)の計算方法を考える。【知】 4 (真分数)÷(整数)の計算方法についてまとめる。</p>	<p>B 面積図と式をつないで、(分数)÷(整数)の計算の仕方を理解することができる。 A 図や既習の計算方法を使って、(分数)÷(整数)の計算の仕方を考え、それを理解することができる。</p>	
<p>第6時 (T・T) (分数)÷(整数)の計算で、計算の途中で約分する方法を理解する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> $\frac{10}{7} \div 4$ </div> <p>1 問題を読み、場面をつかむ。 2 計算の途中で約分がある(分数)÷(整数)の計算の仕方を考える。 3 計算の仕方を発表し、友達の考えと比べながら途中で約分する方法についてまとめる。【知】 4 練習問題をする。</p>	<p>B 分数のわり算でも、計算の途中で約分すれば、計算が簡単になることが分かる。 A 上記に加えて、練習問題が全て正解している。</p>	<p><工夫する学力> 整数の計算で成り立っていた加法や乗法の結合法則を想起し、計算の順序を入れ替えて解く方が簡単だと考える。 [活動3]</p>
<p>第7時 (T・T)</p>	<p>既習事項のまとめ</p>		
<p>第8時</p>	<p>評価(これだけはできるようにしておこう)テスト</p>		
<p>第9時 (学級解体習熟度別コース) 補充的・発展的学習</p>	<p>補充的な学習</p> <p>1 (分数)×(整数)、(分数)÷(整数)の計算の仕方をペアで説明し合う。 2 (分数)×(整数)適用の文章問題を解く。 3 (分数)÷(整数)適用の文章問題を解く。</p> <p>発展的な学習</p> <p>1 分数のかけ算が使われる場面を想定し、問題づくりをする。 2 友達の問題を解き合う。 3 $\times = -$ になる分数を見つける。</p>		